

## アップグレードが失敗する場合の対応方法

\* 特定の環境で、Cariot のアップグレードが失敗する場合がございますので、その際にご利用ください。

(Cariot Ver.2.14 以前のバージョンから Cariot Ver.2.15 以降のバージョンにアップグレードする際に、アップグレードが失敗する場合があります)

# Cariot 2.15 以降のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (1/7)

以下のようなメッセージが表示されて Cariot 2.15 以降のアップグレードが失敗する場合は、次ページ以降の操作をお試しいただき、デバイスオブジェクトの [活動を許可] チェック ボックスをオンにした後に、再度 Cariot 2.15 以降のアップグレードを実行してください。

パッケージ "CariotCore 2.15" のインストール要求は正常に処理されませんでした。salesforce.com 組織内のデータまたは設定情報への影響はありません。

インストールが何度も失敗する場合、通常の方法で Salesforce CRM カスタマーサポートにお問い合わせいただき、次の情報をお知らせください。

組織: Cariotフレクト実車セールス環境 (00D280000014TC0)

ユーザ: セールスLEX フレクト (0050I000008A0Ut)

パッケージ: CariotCore (04t0K000001AASR)

エラー番号: 742989889-765085 (658179458)

問題:

1. (LightningDeviceRecordPage) Component [force:relatedListSingleContainer] attribute [relatedListApiName]: Could not find related list [ActivityHistories] for entity [Cariot\_\_Device\_\_c] LightningDeviceRecordPage: Component [force:relatedListSingleContainer] attribute [relatedListApiName]: Could not find related list [ActivityHistories] for entity [Cariot\_\_Device\_\_c]

## LEX ユーザの場合

Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は LEX の表示テーマとなります。



本ドキュメントの 3 ページから 5 ページをご確認ください。

## Classic ユーザの場合

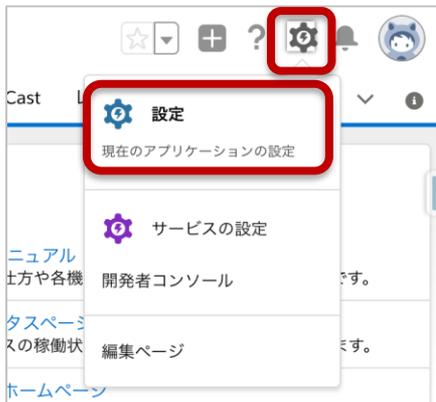
Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は Classic の表示テーマとなります。



本ドキュメントの 6 ページから 8 ページをご確認ください。

# Cariot 2.15 以降のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (2/7)

## 操作手順 (LEX)



1. 画面 右上の歯車のアイコンをクリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックします。



2. 画面 上部の [オブジェクト マネージャ] をクリックします。

# Cariot 2.15 以降のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (3/7)

## 操作手順 (LEX)



設定 オブジェクトマネージャ	
49+ 件の項目 (表示ラベル順)	
スコアカード	Scorecard
スコアカード割り当て	ScorecardAssociation
スコアカード総計値	ScorecardMetric
<b>デバイス</b>	Cariot__Device__c

3. 画面を下方向にスクロールし、[デバイス] をクリックします。



設定 > オブジェクトマネージャ デバイス	
<b>詳細</b>	詳細 <span>編集</span> <span>削除</span>
項目とリレーション	説明
ページレイアウト	
Lightning レコードページ	API 参照名 Cariot__Device__c
ボタン、リンク、およびアクション	レポートで使用する ✓
コンパクトレイアウト	カスタム ✓
	活動の追跡 ✓
	表示ラベル(単数形) デバイス
	項目履歴管理

4. 画面右上の [編集] ボタンをクリックします。

# Cariot 2.15 以降のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (4/7)

## 操作手順 (LEX)

設定 > オブジェクトマネージャ  
デバイス

レコード名 | デバイス名 | 例: 取引先名

データ型 | テキスト

**追加の機能**

- レポートを許可
- 活動を許可
- 項目履歴管理

**オブジェクトの分類**

これらの設定が有効になっている場合、このオブジェクトは Enterprise Application オブジェクトとして分類されます。これらの設定が無効になっている場合、このオブジェクトは Light Application オブジェクトとして分類されます。 [詳細はこちら](#)。

- 共有を許可
- Bulk API アクセスを許可
- ストリーミング API アクセスを許可

**リリース状況** [ヒント](#)

- 開発中
- リリース済み

**検索状況**

この設定が有効になると、ユーザは検索時にこのオブジェクト種別のレコードを検索できます。 [詳細はこちら](#)。

- 検索を許可

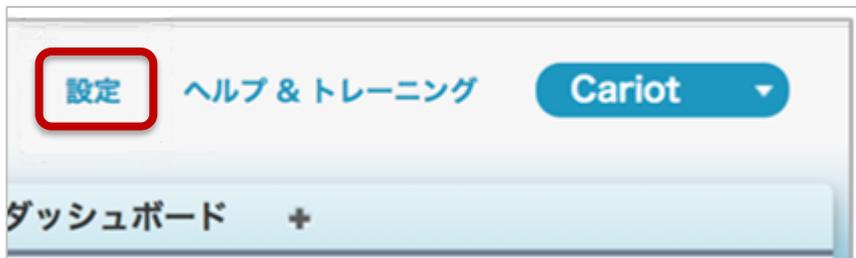
保存 | 保存 & 新規 | キャンセル

5. 画面を下方向にスクロールし、[追加の機能] セクションにて [活動を許可] チェックボックスをオンにし、[保存] ボタンをクリックします。

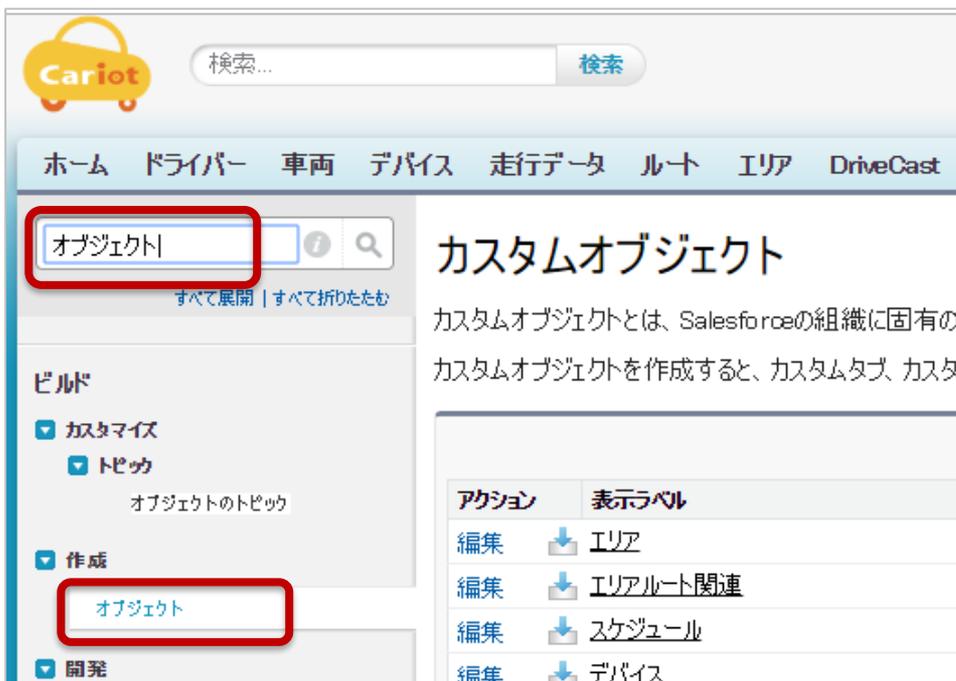
6. Cariot 2.15 以降のアップグレードをお試しください。

# Cariot 2.15 以降のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (5/7)

## 操作手順 (Classic)



1. 画面 右上の [設定] をクリックします。



2. 画面 左上の検索ボックスに「オブジェクト」と入力し、検索を実行します。  
次に、[作成] の配下にある [オブジェクト] をクリックします。

# Cariot 2.15 以降のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (6/7)

## 操作手順 (Classic)

### カスタムオブジェクト

カスタムオブジェクトとは、Salesforceの組織に固有のデータを保存できるデータベース機能を開発できます。

カスタムオブジェクトを作成すると、カスタムタブ、カスタム関連リスト、レポート、ダッシュボードデータにアクセスすることも可能です。

アクション	表示ラベル	インストール済みパッケージ	カスタムオブジェクト
編集	エリア	CariotCore	
編集	エリアルート関連	CariotCore	エリア、ルート
編集	スケジュール	CariotCore	
編集	デバイス	CariotCore	

3. 一覧から [デバイス] をクリックします。

カスタムオブジェクト  
デバイス (管理)

このカスタムオブジェクトの定義は管理されています。つまり、

標準項目 [0] | カスタム項目 & レレーション [0] | 入力規則 [0] | ボタン、リンク、およびアクション [10] | レコードタイプ [0]

カスタムオブジェクトの定義の詳細

表示ラベル	デバイス	編集
オブジェクト名	Device	
名前空間プレフィックス	Cariot	
API 参照名	Cariot_Device_c	

4. [編集] ボタンをクリックします。

# Cariot 2.15 以降のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (7/7)

## 操作手順 (Classic)

カスタムオブジェクトの定義の編集

保存 保存 & 新規 キャンセル

### カスタムオブジェクトの情報

タブ、レイアウト、レポートなどで表示される表示ラベルです。  
名前または表示ラベルを変更すると、既存のインテグレーションと差し込みテンプレートに影響  
表示ラベル | デバイス

オブジェクト名は、API 経由でオブジェクトを参照する際に使用されます。  
オブジェクト名 | Device 例 Account

説明

カスタムヘルプの設定

Salesforce 標準の [ヘルプ & トレーニング] ウィンドウを開く  
 Visualforce ページを使ってウィンドウを開く

コンテンツ名 | ---なし---

### レコード名の表示ラベル型を入力

レコード名は、ページレイアウト、主要なオブジェクト、関連リスト、ルックアップ、検索結果で表示  
「取引先名」になり、ケースでは「ケース番号」になります。レコード名の項目は、API 経由で参照  
レコード名 | デバイス名 例 取引先名

データ型 | テキスト

### 追加の機能

レポートを許可  
 活動を許可  
 Chatter グループ内で許可

5. 画面を下方方向にスクロールし、[追加の機能] セクションにて [活動を許可] チェックボックスをオンにし、[保存] ボタンをクリックします。

6. Cariot 2.15 以降のアップグレードをお試しください。